

# 宮城県商地 工 会 区 中小企業景況調査報告書

2021年7月～9月期

## 目 次

1. 県下産業全体の景況 .....	2
(1) 主要景況項目のあらまし .....	2
(2) 全国・東北ブロックおよび本県景況のあらまし .....	3
(3) 今後の見通しについて .....	4
2. 県下産業別の景況 .....	5
(1) 製造業の動向 .....	5
(2) 建設業の動向 .....	8
(3) 小売業の動向 .....	11
(4) サービス業の動向 .....	14

2021年10月

宮 城 県 商 工 会 連 合 会

# 中小企業景況調査報告書

2021年7月～9月

## [調査要領]

### 1. 調査対象

- (1) 対象地区 宮城県内10商工会地区  
(調査対象商工会名) 名取市商工会、大河原町商工会、みやぎ仙台商工会、  
利府松島商工会、くろかわ商工会、加美商工会、  
遠田商工会、若柳金成商工会、みやぎ北上商工会、  
石巻かほく商工会
- (2) 対象企業数 150企業
- (3) 回答企業数 149企業

### 2. 調査対象期間

2021年7月～9月期を対象として、調査時点は2021年9月1日とした。

### 3. 調査方法

- (1) 商工会の経営指導員による訪問面接調査。
- (2) 対象企業の抽出は、商工会に於いて、業種・規模等有意選定。

### 4. 回答企業内訳

業種	企業数
製造業	32
建設業	26
小売業	44
サービス業	47
合計	149

### 5. その他

本報告書中のDIとは、ディフュージョン・インデックス(景気動向指数)の略で、各調査項目についての増加(上昇・好転)企業割合と減少(低下・悪化)企業割合の差を示すものである。

# 1. 県下産業全体の景況

## (1) 主要景況項目のあらまし

### ① 業況D I の状況と来期見通し

県下商工会地区における今期(2021年7月～9月期)の調査において、産業全体(全産業)の業況D I(前年同期との比較D I、以下同じ)は、前期より△14.9ポイントの悪化で△46.9(前期△32.0)となった。産業別でも、製造業が△35.4(前期△21.9)と△13.5ポイント悪化、建設業で△34.6(前期△20.0)と△14.6ポイント悪化、小売業で△70.8(前期△46.5)と△24.3ポイント悪化、サービス業でも△40.4(前期△31.9)と△8.5ポイントの悪化と、全業種で悪化となった。

来期見通しでは、産業全体(全産業)としては改善の見通しである。産業別では、製造業で悪化、建設業、小売業、サービス業では改善の見通しである。

表一1 業況D I の状況と来期見通し (前年同期比・D I)

業種	前期	今期	来期見通し
全産業	△ 32.0	△ 46.9	△ 39.0
製造業	△ 21.9	△ 35.4	△ 37.5
建設業	△ 20.0	△ 34.6	△ 30.8
小売業	△ 46.5	△ 70.8	△ 56.1
サービス業	△ 31.9	△ 40.4	△ 29.8

### ② 設備投資の状況と来期計画

新規投資の実施比率は、製造業が6.3%で前期比△9.3ポイント減少、建設業でも7.7%と前期比△4.3ポイント減少、小売業では9.1%で前期比2.3ポイント増加、サービス業でも19.1%と前期比2.1ポイントの増加であった。

来期に設備投資を計画している企業は、今期に比べ製造業で増加、建設業、サービス業で減少、小売業で横ばいとなっている。

表一2 設備投資の状況と来期計画 (企業割合・%)

業種	前期	今期	来期計画
製造業	15.6	6.3	9.4
建設業	12.0	7.7	3.8
小売業	6.8	9.1	9.1
サービス業	17.0	19.1	8.5

## (2) 全国・東北ブロックおよび本県景況のあらまし

### ① 売上額（完成工事額）

2021年9月調査の日銀短観で、「中小企業の業況判断指数（D I）は前期(2021年6月調査)と比較して、製造業が4ポイント改善のマイナス3、非製造業は1ポイント悪化のマイナス10だった。先行きは製造業で今期に比べ若干の悪化、非製造業では今期に比べ悪化を見込んでいる」と発表された。

宮城の今期売上額（完成工事額）D Iは、全業種でマイナス値であった。前期との比較では全業種で悪化となった。

今期の宮城の全国・東北との売上額D I比較では、製造業・建設業・小売業で全国・東北以下、サービス業では全国以下・東北以上であった。

表－3 売上額（完成工事額）の状況（前年同期比・D I）

区分 業種	全 国		東 北		宮 城	
	前 期	今 期	前 期	今 期	前 期	今 期
製 造 業	△ 10.7	△ 12.6	△ 8.6	△ 13.0	△ 18.8	△ 34.4
建 設 業	△ 14.8	△ 18.0	△ 8.1	△ 18.5	△ 20.0	△ 34.6
小 売 業	△ 27.5	△ 42.9	△ 38.1	△ 54.7	△ 38.6	△ 75.0
サービス業	△ 15.9	△ 41.3	△ 20.5	△ 45.6	△ 6.4	△ 42.5

### ② 採 算

宮城の今期の採算D Iも、全業種でマイナス値であった。前期との比較では、製造業で改善、建設業・小売業・サービス業では悪化となった。

今期の宮城の全国・東北との採算D I比較では、製造業・建設業・小売業で全国・東北以下、サービス業では全国・東北以上であった。

表－4 採算の状況（前年同期比・D I）

区分 業種	全 国		東 北		宮 城	
	前 期	今 期	前 期	今 期	前 期	今 期
製 造 業	△ 20.3	△ 23.2	△ 24.5	△ 20.7	△ 34.3	△ 31.2
建 設 業	△ 19.9	△ 26.2	△ 20.2	△ 32.1	△ 36.0	△ 50.0
小 売 業	△ 36.8	△ 44.0	△ 46.9	△ 57.3	△ 51.2	△ 69.8
サービス業	△ 29.7	△ 41.8	△ 31.1	△ 44.4	△ 21.2	△ 38.3

### (3) 今後の見通しについて

#### ① 県下産業全般の主要項目来期見通し

宮城の売上額（完成工事額）来期見通しD I（2021年10月～12月期）では、今期状況D Iとの比較で、製造業で△12.4ポイントの悪化、建設業・小売業で横ばい、サービス業で6.3ポイントの改善の見通しとなった。

採算来期見通しD Iでは、今期状況D Iとの比較で、製造業で△6.3ポイントの悪化、建設業で11.5ポイントの改善、小売業で△2.3ポイントの悪化、サービス業では6.4ポイントの改善見通しとなった。

#### ② 全国と本県企業の来期見通し比較

今期と来期見通しとの比較において、製造業では売上は全国・宮城共に悪化、採算では全国で若干の改善、宮城で悪化の見通しとなった。建設業では売上は全国で悪化、宮城で横ばい、採算では全国で若干の悪化、宮城で改善の見通しとなった。小売業では売上は全国で若干の悪化、宮城で横ばい、採算では全国で改善、宮城で悪化の見通しとなった。サービス業では、売上は全国で若干の改善、宮城で改善、採算では全国・宮城共に改善の見通しとなった。

表－5 売上額（完成工事額）の状況と見通し（前年同期比・D I）

区分 業種	全 国		宮 城	
	今期状況	来期見通し	今期状況	来期見通し
製造業	△ 12.6	△ 18.2	△ 34.4	△ 46.8
建設業	△ 18.0	△ 25.1	△ 34.6	△ 34.6
小売業	△ 42.9	△ 43.4	△ 75.0	△ 75.0
サービス業	△ 41.3	△ 41.2	△ 42.5	△ 36.2

表－6 採算の状況と見通し（前年同期比・D I）

区分 業種	全 国		宮 城	
	今期状況	来期見通し	今期状況	来期見通し
製造業	△ 23.2	△ 22.9	△ 31.2	△ 37.5
建設業	△ 26.2	△ 26.9	△ 50.0	△ 38.5
小売業	△ 44.0	△ 41.1	△ 69.8	△ 72.1
サービス業	△ 41.8	△ 38.6	△ 38.3	△ 31.9

## 2. 県下産業別の景況

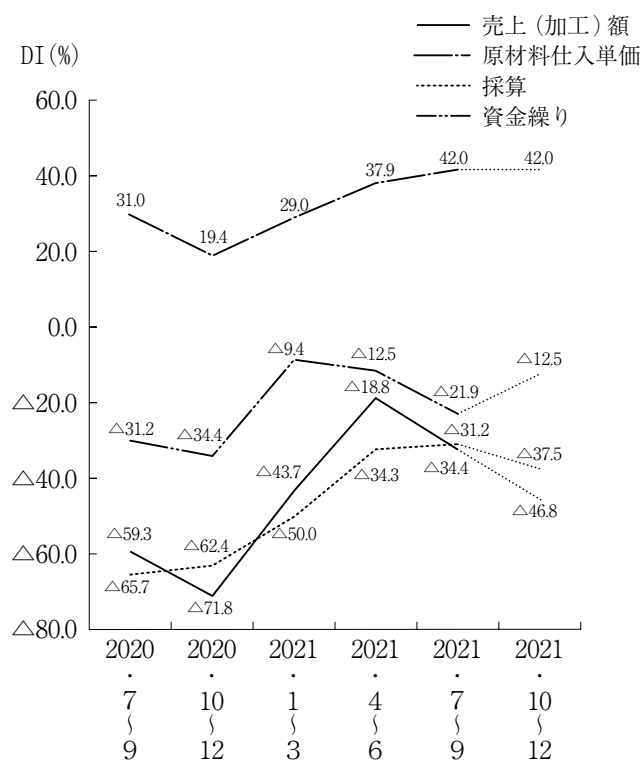
### (1) 製造業の動向

#### ① 主要景況項目から見たあらまし

前年同期比D Iは、売上（加工）額D Iが今期△34.4（前期△18.8）となり△15.6ポイント前期より悪化、採算D Iでは今期△31.2（前期△34.3）で3.1ポイント改善、資金繰りD Iでは今期△21.9（前期△12.5）で△9.4ポイントの悪化となった。

原材料仕入単価は今期42.0（前期37.9）と4.1ポイント上昇した。

図1-1 主要景況項目の推移  
(前年同期比)



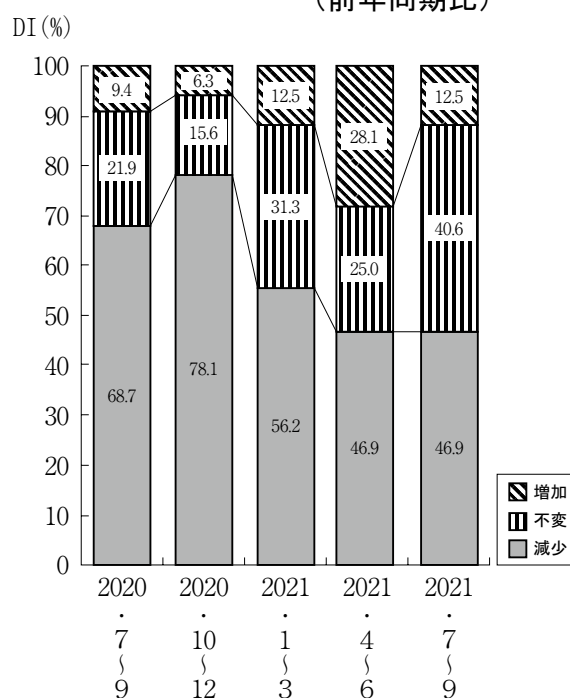
#### ② 主要景況項目別状況

##### (a) 売上(加工)額

「増加」と回答した企業は、全体の12.5%（前期28.1%）と△15.6ポイント減少、「減少」と回答した企業は46.9%（前期46.9%）と横ばいであった。

その結果、売上（加工）額D Iは△34.4（前期△18.8）となり前期比△15.6ポイント悪化した。

図1-2 売上（加工）額の状況  
(前年同期比)

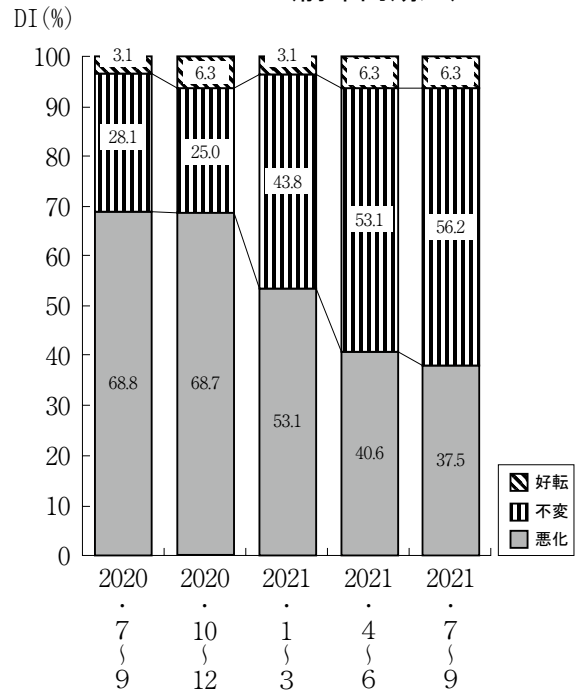


**(b) 採 算**

「好転」と回答した企業は全体の 6.3% (前期 6.3%) で前期と同じ、「悪化」と回答した企業は 37.5% (前期 40.6%) で△3.1 ポイント減少した。

その結果、採算DIは△31.2 (前期△34.3) で前期より 3.1 ポイント改善した。

**図 1-3 採算の状況  
(前年同期比)**



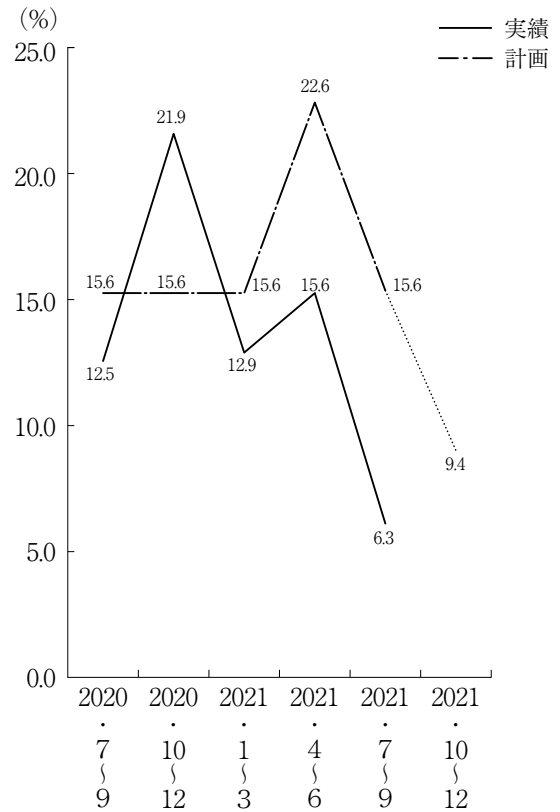
**(c) 設 備 投 資**

今期の新規投資実施(実績)企業割合は全体の 6.3% (前期 15.6%) で、前期と比べ△9.3 ポイント減少した。

その設備内容は、生産設備、OA機器、福利厚生施設であった。

来期に設備投資を計画している企業は全体の 9.4% で、その設備内容は、生産設備、OA機器、その他となっている。

**図 1-4 設備投資の状況**



### (d) 経営上の問題点

重要度第1位の問題点は「需要の停滞」で25.0%、次いで「原材料価格の上昇」が17.9%、「製品ニーズの変化」、「大企業の進出による競争の激化」が同率10.7%で続いた。

重要度第1位から第3位合計でも「需要の停滞」が50.0%(複数回答合計、以下同じ)で最上位、次いで「原材料価格の上昇」が28.6%、「人件費の増加」が25.0%で続いた。

### ③ 全国・東北ブロックと本県の景況比較

今期と前期の比較では売上(加工)額DIでは全地域(全区分)で悪化した。その悪化度は宮城、東北、全国の順であった。

採算DIの比較では、全国で悪化、東北、宮城で改善した。その改善度は東北、宮城の順であった。

本県回答事業者からは「(需要増により)一時期に生産が集中するため、逆に空白期間中の労務管理に工夫が必要」(酒造業)や、「コロナ禍で受注低迷が続く結果、企業の生産力の落ち込みがひどい」(金属加工業)などのコメントがあった。

図1-5 経営上の問題点

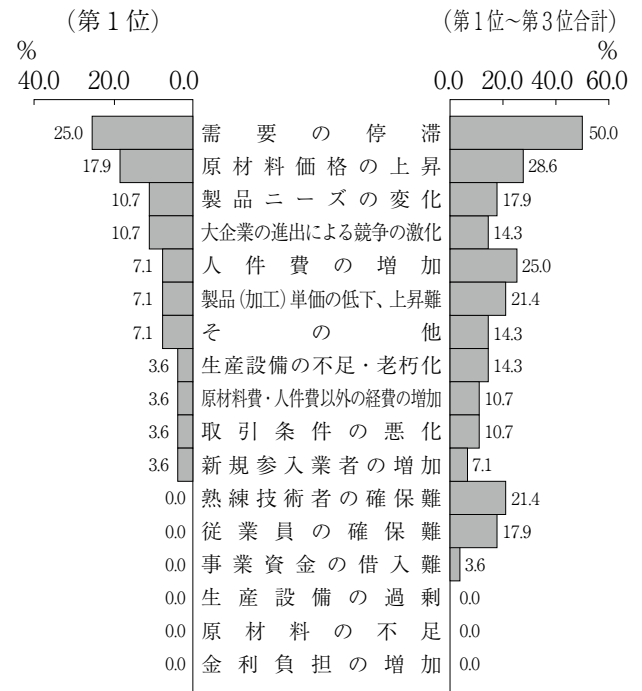
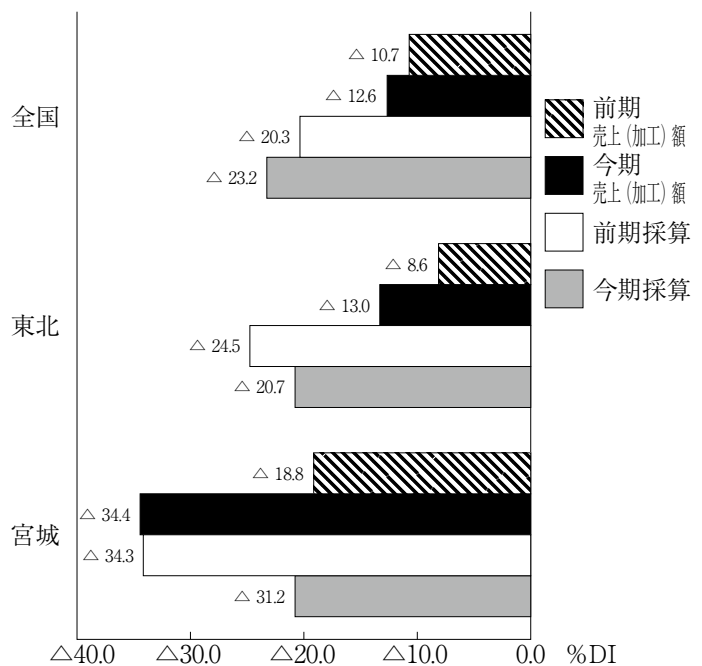


図1-6 全国東北宮城売上(加工)額・採算比較(前年同期比)



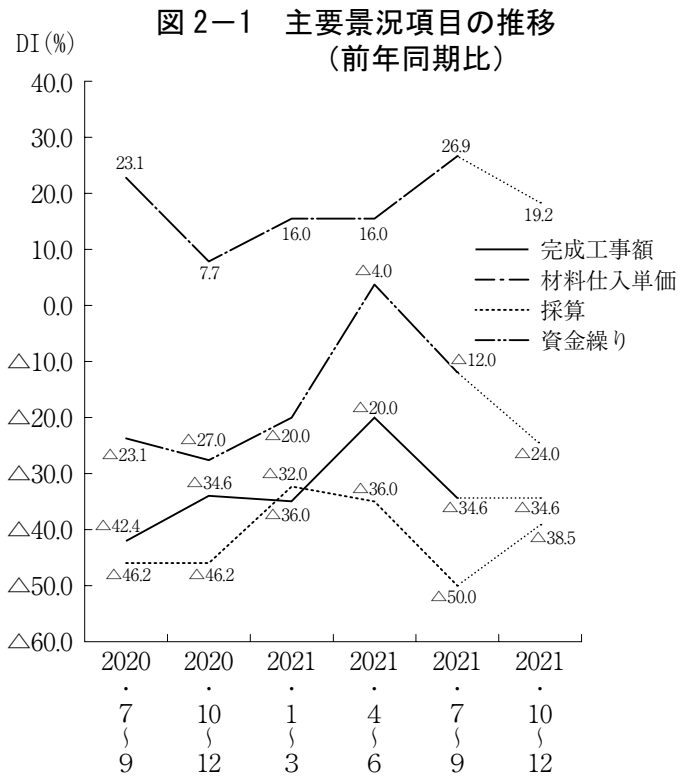


## (2) 建設業の動向

### ① 主要景況項目から見たあらまし

完成工事（請負工事）額D Iは今期△34.6（前期△20.0）と△14.6ポイント悪化、採算D Iで今期△50.0（前期△36.0）で△14.0ポイント悪化、資金繰りD Iでも今期△12.0（前期△4.0）と△8.0ポイント悪化した。

材料仕入単価D Iは今期 26.9（前期 16.0）と 10.9ポイント上昇した。



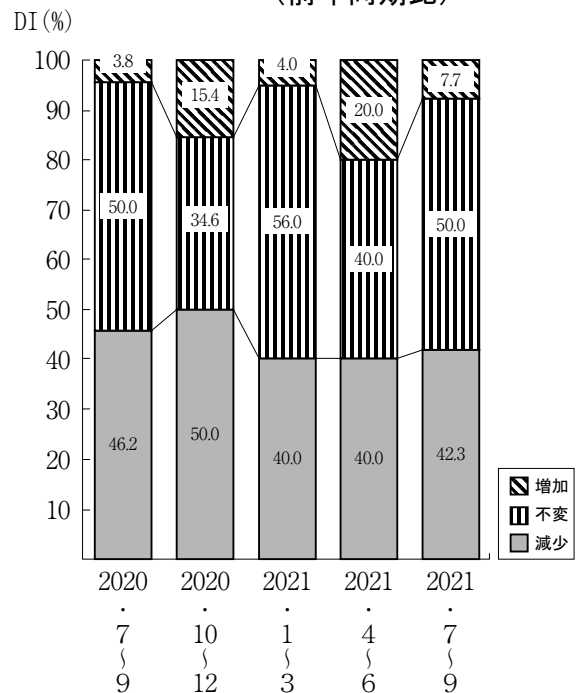
### ② 主要景況項目別状況

#### (a) 完成工事（請負工事）額

「増加」と回答した企業は全体の 7.7%（前期 20.0%）で△12.3ポイント減少、「減少」と回答した企業は 42.3%（前期 40.0%）で 2.3ポイント増加した。

その結果、完成工事（請負工事）額D Iは△34.6（前期△20.0）と△14.6ポイント悪化した。

図 2-2 完成工事額の状況  
(前年同期比)

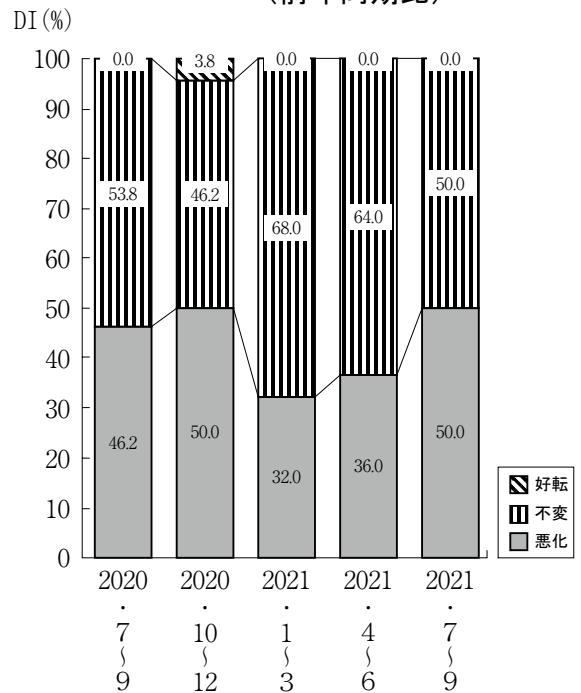


**(b) 採 算**

「好転」と回答した企業は全体の 0.0% (前期 0.0%) で横ばい、「悪化」と回答した企業は全体の 50.0% (前期 36.0%) で 14.0 ポイント増加した。

その結果、採算DIは△50.0 (前期△36.0) と前期より△14.0 ポイント悪化した。

図 2-3 採算の状況 (前年同期比)



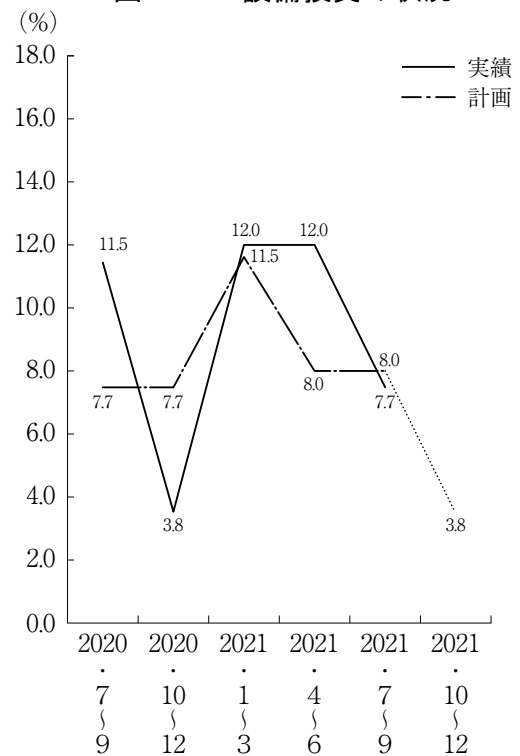
**(c) 設 備 投 資**

今期の新規投資実施 (実績) 企業割合は全体の 7.7% (前期 12.0%) で、前期より△4.3 ポイント減少した。

その設備内容は、建設機械、車両・運搬具であった。

来期に設備投資を計画している企業は全体の 3.8%で、その設備内容は、建設機械、付帯施設となっている。

図 2-4 設備投資の状況

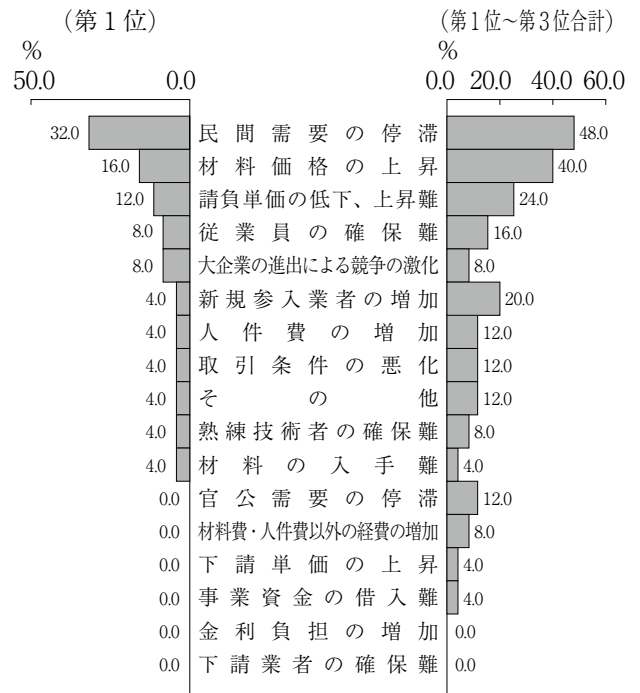


### (d) 経営上の問題点

重要度第1位の問題点は「民間需要の停滞」が32.0%で、次いで「材料価格の上昇」が16.0%、「請負単価の低下、上昇難」が12.0%で続いた。

重要度第1位から第3位合計でも、「民間需要の停滞」が48.0%（複数回答合計、以下同じ）で最上位、次いで「材料価格の上昇」が40.0%、「請負単価の低下、上昇難」が24.0%で続いた。

図2-5 経営上の問題点



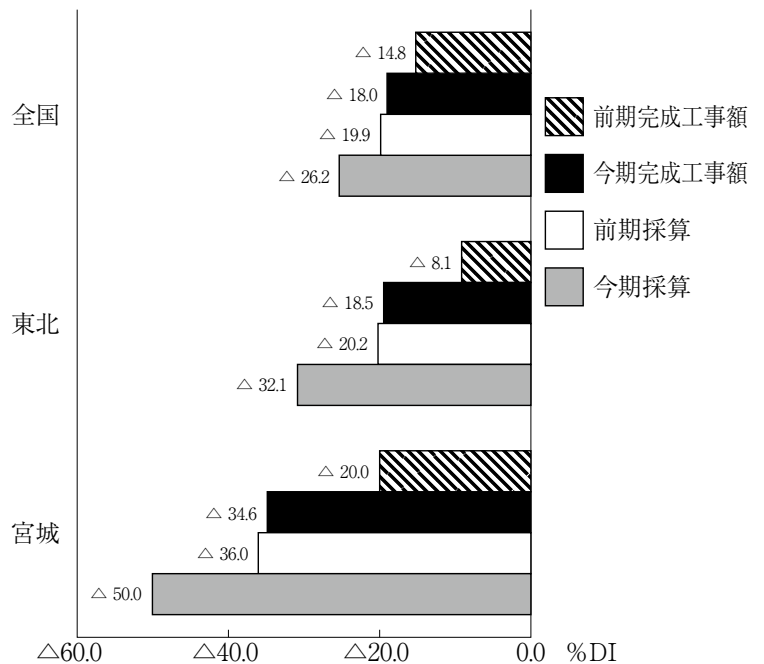
### ③ 全国・東北ブロックと本県の景況比較

今期と前期との比較では、完成工事額DIは全地域（全区分）で悪化した。その悪化度は宮城、東北、全国の順であった。

採算DIの比較でも、全地域（全区分）で悪化した。その悪化度でも宮城、東北、全国の順であった。

本県回答事業所からは「コロナ禍による経済の低迷だけでなくライフスタイルの多様化もあり、一層の需要減」や「月別での変動があるものの、年間では昨年と同程度の売上に」などのコメントが寄せられた。

図2-6 全国東北宮城完成工事額・採算比較（前年同期比）



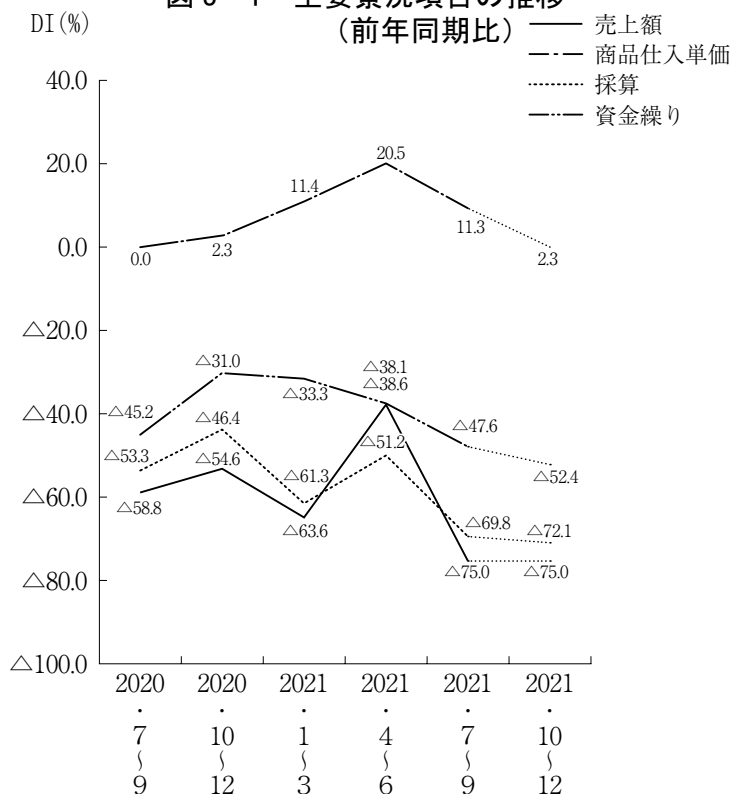
### (3) 小売業の動向

#### ① 主要景況項目から見たあらまし

売上額D Iは今期△75.0(前期△38.6)と前期より△36.4ポイント悪化、採算D Iも今期△69.8(前期△51.2)で△18.6ポイント悪化、資金繰りD Iでも今期△47.6(前期△38.1)で△9.5ポイント悪化した。

商品仕入単価D Iは今期 11.3 (前期 20.5) となり、△9.2ポイント下落した。

図3-1 主要景況項目の推移  
(前年同期比)



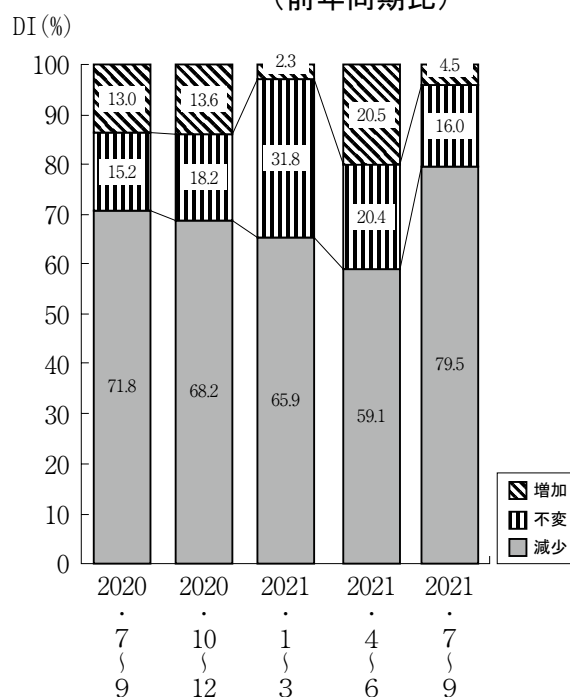
#### ② 主要景況項目別状況

##### (a) 売上額

「増加」と回答した企業は、今期は全体の4.5%(前期20.5%)で△16.0ポイント減少、「減少」の回答は、今期は全体の79.5%(前期59.1%)で20.4ポイント増加した。

その結果、売上額D Iは今期△75.0(前期△38.6)と前期より△36.4ポイント悪化した。

図3-2 売上額の状況  
(前年同期比)

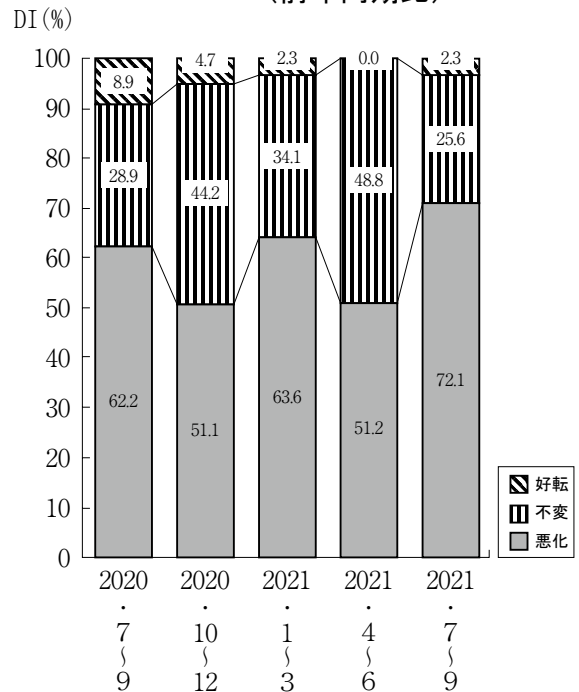


**(b) 採 算**

「好転」と回答した企業は、今期は全体の2.3%（前期0.0%）と2.3ポイント増加、「悪化」の回答も、今期は全体の72.1%（前期51.2%）で20.9ポイント増加した。

その結果、採算DIは今期△69.8（前期△51.2）で、前期より△18.6ポイント悪化した。

**図 3-3 採算の状況  
（前年同期比）**



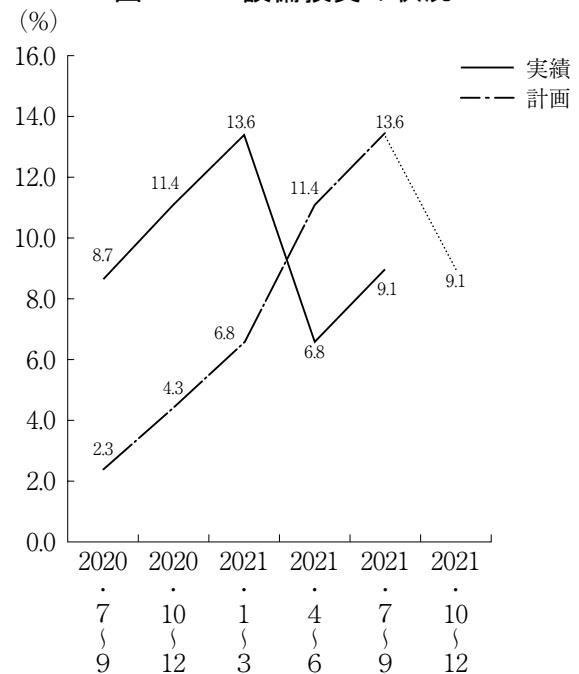
**(c) 設 備 投 資**

今期の新規投資実施（実績）企業割合は、今期は全体の9.1%（前期6.8%）で、前期比2.3ポイント増加した。

その設備内容は、販売設備、付帯施設、OA機器であった。

来期に設備投資を計画している企業は全体の9.1%で、その設備内容は、車両・運搬具、付帯施設、OA機器となっている。

**図 3-4 設備投資の状況**

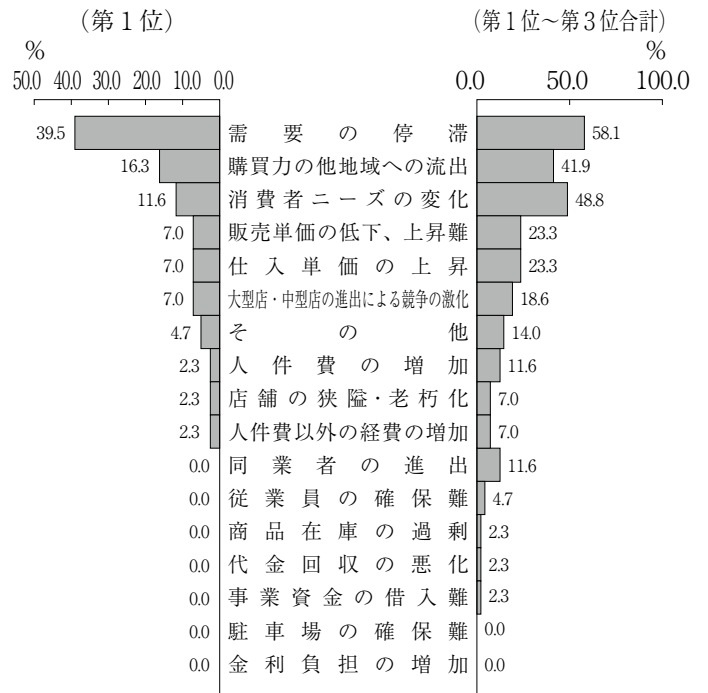


### (d) 経営上の問題点

重要度第1位は「需要の停滞」が39.5%で、次いで「購買力の他地域への流出」が16.3%、「消費者ニーズの変化」が11.6%で続いた。

重要度第1位から第3位合計でも、「需要の停滞」が58.1%（複数回答合計、以下同じ）で最上位、次いで「消費者ニーズの変化」が48.8%、「購買力の他地域への流出」が41.9%で続いた。

図3-5 経営上の問題点



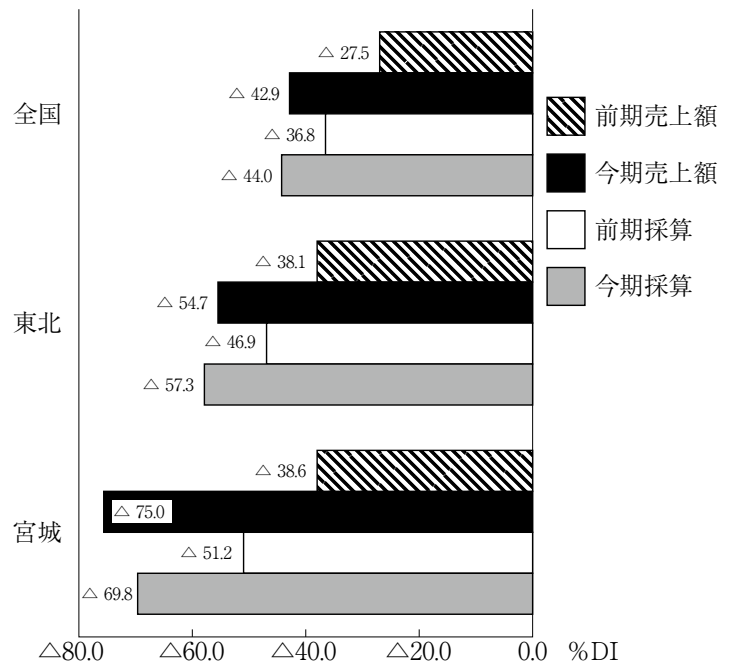
### ③ 全国・東北ブロックと本県の景況比較

今期と前期の比較では、売上DIは全地域（全区分）で悪化した。その悪化度は宮城、東北、全国の順であった。

採算DIでも全地域（全区分）で悪化した。その悪化度でも宮城、東北、全国の順であった。

本県回答事業所から「コロナ禍で、一か所で買い物を済ませようという流れを感じる。専門店として売り上げを増すのに苦労」（青果販売）や「行事がほとんどなくなり、大きな取引がない。以前の賑わいの復帰を期待」（雑貨販売）などのコメントが寄せられた。

図3-6 全国東北宮城売上額・採算比較（前年同期比）



## (4) サービス業の動向

### ① 主要景況項目から見たあらまし

売上（収入）額D Iは今期△42.5（前期△6.4）で△36.1ポイント悪化、採算D Iも今期△38.3（前期△21.2）で△17.1ポイント悪化、資金繰りD Iでも今期△23.9（前期△13.1）で△10.8ポイント悪化した。

利用客数D Iも今期△38.3（前期△4.2）で△34.1ポイント減少した。

### ② 主要景況項目別状況

#### (a) 売上（収入）額

「増加」と回答した企業は、今期は全体の12.8%（前期29.8%）で前期より△17.0ポイント減少、「減少」の回答は今期55.3%（前期36.2%）で19.1ポイント増加した。

その結果、売上（収入）額D Iは今期△42.5（前期△6.4）で前期より△36.1ポイント悪化した。

図4-1 主要景況項目の推移  
(前年同期比)

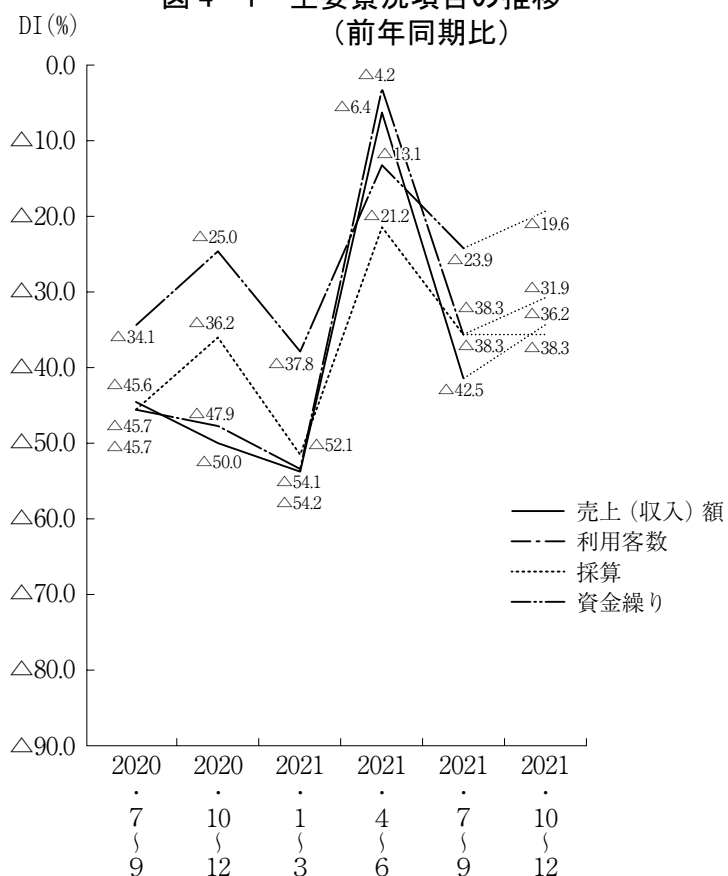
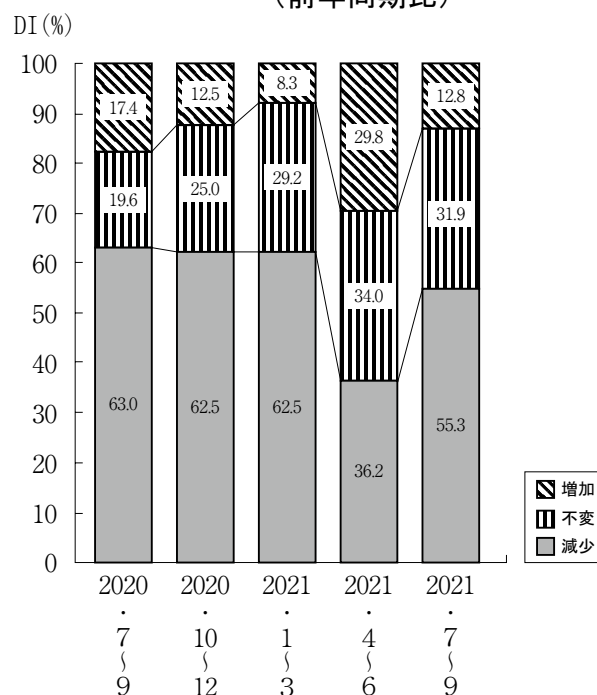


図4-2 売上（収入）額の状況  
(前年同期比)

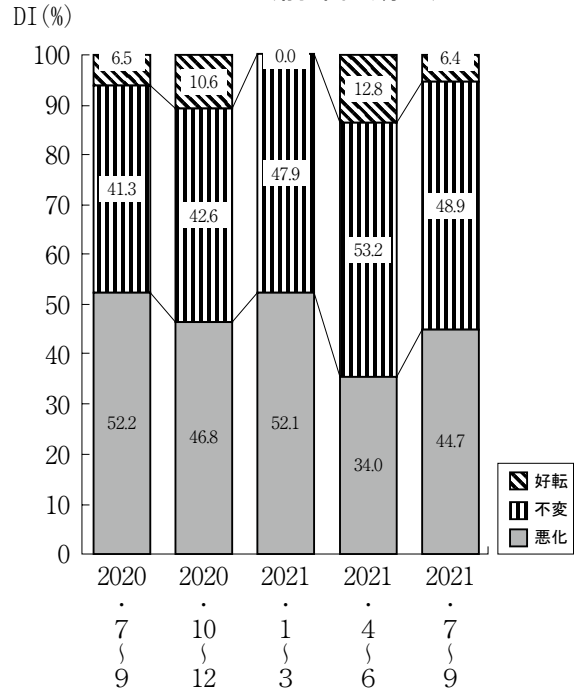


(b) 採 算

「好転」と回答した企業は、今期は全体の6.4%(前期12.8%)で△6.4ポイント減少、  
「悪化」と回答した企業は今期44.7%(前期34.0%)と10.7ポイント増加した。

その結果、採算DIは今期△38.3(前期△21.2)で前期より△17.1ポイント悪化した。

図4-3 採算の状況  
(前年同期比)



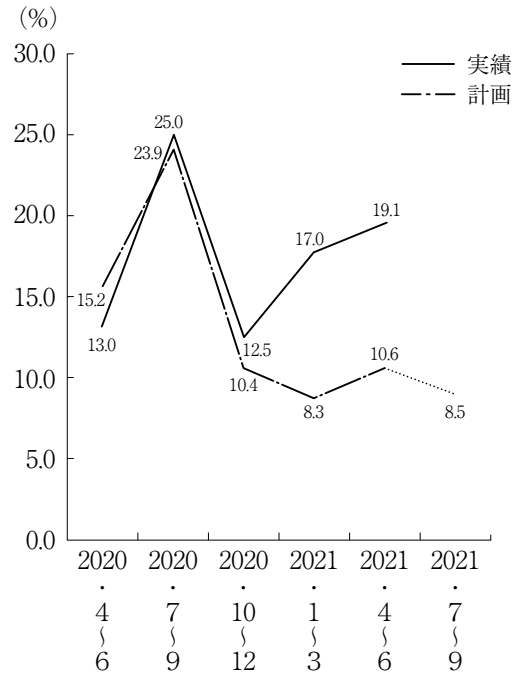
(c) 設 備 投 資

今期新規投資を実施(実績)した企業は全体の19.1%(前期17.0%)で、前期より2.1ポイント増加した。

その設備内容は、土地、建物、サービス、車両・運搬具、OA機器、その他であった。

来期に設備計画している企業割合は全体の8.5%で、その設備内容は、建物、サービス、その他となっている。

図4-4 設備投資の状況



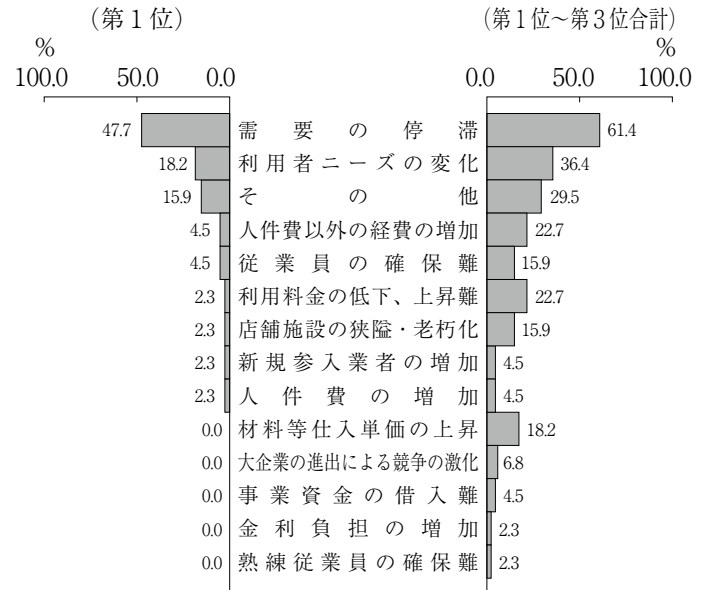


### (d) 経営上の問題点

重要度第1位は「需要の停滞」が47.7%で、次いで「利用者ニーズの変化」が18.2%、「その他」が15.9%で続いた。

重要度第1位から第3位合計でも「需要の停滞」が61.4%（複数回答合計、以下同じ）で最上位、次いで「利用者ニーズの変化」が36.4%、「その他」が29.5%で続いた。

図4-5 経営上の問題点



### ③ 全国・東北ブロックと本県の景況比較

前期と今期の比較において、売上(収入)DIは全地域(全区分)で悪化した。その悪化度は宮城、全国、東北の順であった。

採算DIでも全地域(全区分)で悪化した。その悪化度は宮城、東北、全国の順であった。

本県回答事業所からは「営業時間の延長で今年の前年よりは業況が改善しているが、人件費等の諸経費も増加し、先行きが不安」(飲食業)や「コロナ禍以前の生活に戻ることが経済の活性化につながる。国、県、市町村の継続的な対策に期待」(ランドリー業)などのコメントが寄せられた。

図4-6 全国東北宮城売上(収入)額・採算比較(前年同期比)

